

平成26年度 妙高市理科部 活動報告

部長 戸田 一弘

1 研究主題

「科学的な思考力を育成する理科教育の工夫」

2 研究の概要

- ・平成26年4月23日（水）の第1回理科部会で今年度の研究主題「科学的な思考力を育成する理科教育の工夫」を決める。
- ・平成26年8月21日（木）の第2回理科部会で11月11日の教職員理科研究発表会の発表者より、授業構想を含めた中間発表会を行う。また、他の理科部員も全員「科学的な思考力を育成する理科教育の工夫」をテーマに実践レポートを持ち寄り、2班に分かれて話し合いを行う。
- ・平成26年11月11日（火）にわくわくランドあらいで教職員理科研究発表会を行う。

3 研究の実際

平成26年11月11日（火）にわくわくランドあらいで上越科学技術研究会妙高支部と協力して第53回教職員理科研究発表会を行う。妙高市理科部の8人が代表で発表する。発表者と発表題目は以下の通りである。

陸川善太「ふるさとに愛着をもつための活動～「いもり池」の校外観察学習を通して～」、石野 亨「科学的な思考力を育成する理科教育の工夫」、小島直子「理科と関連を図った稲作りの取組」、浅野一清「話す・書くことで科学的思考力を発揮する子ども～思考したくなる教材と学習展開の工夫～」、山崎志保「教室の中に理科を取り入れる」、玉木政彦「実体験を重視した地層観察学習の実践」、大坂和広「力学台車の工夫」、丸田昭彦「イオン学習における教材の工夫」の以上8点である。

その他、発表しなかった理科部員は、受付や会場準備、開会式、閉会式の司会、各会場の進行・記録や世話役と大活躍であった。

4 成果と課題

妙高市で行っている理科部員の実践発表が、上越市、糸魚川市、柏崎市を含めた教職員理科研究発表会で発表できたことが大きな成果であった。また、多くの理科を愛する実践発表者の発表を聞く機会がもてたことも大きな成果であった。

課題は、市教研の一斉研修が午後からであったが、教職員理科研究発表会は午前からあったため理科部員は一日研修になってしまった点である。